

授業科目 NO. 805 助産診断技術学Ⅱ（分娩期）

Midwifery Diagnosis and Skills II (Delivery Period)

授業の形態：講義

単位数（時間数）：2単位（30時間）

開講年次・学期：4年次・前期

必修・選択の別：選択・助産師選択コース必修

キーワード：分娩の4要素、助産診断、助産ケア、胎盤検査

1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学修目標

1) 一般目標（GIO）

分娩の4要素について理解し、分娩各期における助産診断と助産ケアの提供に必要な知識及び胎盤検査の方法について学修する。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 分娩の4要素について説明できる。(②)
- (2) 分娩各期における助産診断と診断に基づいた助産ケアについて説明できる。(①②)
- (3) 分娩期における正常経過逸脱の予測に必要な診断技術及び予防的視点とそのケアの必要性について説明できる。(①②)
- (4) 硬膜外麻酔分娩の産婦に対する助産ケアについて説明できる。(①②)
- (5) 胎盤検査の目的と観察項目・正常値が説明できる。(②)

3 学修内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	85%
実習成績	
レポート	
授業態度	
小テスト	15%
口頭試問	
その他	
合計	100%

(特記事項)

5 教育担当者

科目責任者：山崎 智里

准 教 授 山崎 智里（母性看護学・助産学）
助 教 大嶋 舞香（母性看護学・助産学）

6 教育担当者の実務経験

担当教員は助産師としての実務経験を有している。

7 教科書

- 1) 町浦美智子（編）：助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア、日本看護協会出版会
- 2) 小林康江（編）：助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、日本看護協会出版会
- 3) 北川眞理子、内山和美（編）：今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程、南江堂

8 推薦参考書

- 1) 我部山キヨ子、藤井知行（編）：助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ〔2〕分娩期・産褥期、医学書院
- 2) 公益社団法人 日本産科婦人科学会、公益社団法人 日本産婦人科医会(編)：産婦人科診療ガイドライン 産科編 2023
- 3) 我部山キヨ子、大石時子（編）：アセスメント力を磨く 助産師のためのフィジカルイグザミネーション 第2版、医学書院
- 4) 進純郎他（著）：正常分娩の助産術—トラブルへの対応と会陰裂傷縫合、医学書院
- 5) 中井章人（著）：図説 CTG テキスト アドバンス—助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)®レベルⅢ 更新必須研修対応テキスト、メジカルビュー社
- 6) 中井章人（著）：図説 CTG テキスト—助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)®レベルⅢ 認

証 CTG 必須研修対応テキスト、メジカルビュー社

- 7) 藤森敬也 (著) : 改訂 4 版 胎児心拍数モニタリング講座: 大事なサインを見逃さない!、メデ
ィカ出版
- 8) 平澤 美恵子他 (監修) : 新訂版写真でわかる助産技術アドバンス、インターメディカ
- 9) 病気が見える Vol.10 産科、Medic Media

9 準備学修に必要な時間及び具体的な学習内容

- 1) 授業 1 コマにつき、事前学修・事後学修として計 180 分程度必要である。
- 2) 事後学修は、授業時配布資料の内容を教科書、推薦参考書等を用いてより深く学修し、助産実
践につながるよう幅広く正確にノートに記載しておくこと。また、授業で提示する課題につい
てもノートに記載しておくこと。
- 3) 分娩期の診断及び助産実践に必要な知識について、
 - ・公益社団法人 日本産科婦人科学会、公益社団法人 日本産婦人科医会(編) : 産婦人科診療ガ
イドライン 産科編 2023 (https://www.jsog.or.jp/activity/pdf/gl_sanka_2023.pdf)
 - ・エビデンスに基づく助産ガイドライン—妊娠期・分娩期・産褥期 2024
(https://www.jyosan.jp/uploads/files/journal/JAMguigeline_2021_citizens_QA/jam_guideline2024.pdf)にアクセスして、コンセンサスが得られた適正な標準的助産診断・管理法を理解し、ノート
にまとめておくこと。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

小テストについては、授業の中で解説する。

11 履修上の注意事項

- 1) 教科書・配布資料は、毎回持参すること。
- 2) 授業内容に関する質問等は積極的に行う。また、授業中における意見等の発言は積極的に行い、
学修内容を深めること。

12 オフィスアワー等

随時訪問可だが、事前に都合の確認をすることが望ましい。

山崎 E-mail : chisasa@kanazawa-med.ac.jp

第4学年

助産診断技術学Ⅱ
(分娩期)

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
前	1	4月03日(木)	1	講義	分娩開始の診断		母性看護学・助産学	山崎准教授
前	2	4月03日(木)	2	講義	入院時の診断・アセスメントとケア	グループワーク/ディスカッション	母性看護学・助産学	山崎准教授
前	3	4月08日(火)	1	講義	分娩の4要素:娩出力1		母性看護学・助産学	山崎准教授
前	4	4月08日(火)	2	講義	分娩の4要素:娩出力2、娩出力の異常、分娩誘発・促進		母性看護学・助産学	山崎准教授
前	5	4月10日(木)	1	講義	分娩の4要素:産道1	小テスト	母性看護学・助産学	山崎准教授
前	6	4月10日(木)	2	講義	分娩の4要素:産道2、産道の異常		母性看護学・助産学	山崎准教授
前	7	4月15日(火)	1	講義	分娩の4要素:胎児・付属物1	小テスト	母性看護学・助産学	山崎准教授
前	8	4月15日(火)	2	講義	分娩の4要素:胎児・付属物2、胎児等の異常		母性看護学・助産学	山崎准教授
前	9	4月17日(木)	1	講義	胎児の健康状態のアセスメント、分娩の4要素:産婦の心理	小テスト	母性看護学・助産学	山崎准教授
前	10	4月17日(木)	2	講義	分娩第1期～第2期の診断・アセスメントとケア、分娩体位と会陰保護		母性看護学・助産学	山崎准教授
前	11	4月22日(火)	1	講義	分娩第3期～第4期の診断・アセスメントとケア		母性看護学・助産学	山崎准教授
前	12	4月22日(火)	2	講義	分娩期の記録(バルトグラム)の書き方		母性看護学・助産学	山崎准教授
前	13	5月27日(火)	1	講義	分娩期における出血時の対応		母性看護学・助産学	山崎准教授
前	14	5月27日(火)	2	演習	胎盤付属物の精査と計測	シミュレーション	母性看護学・助産学	山崎准教授,大嶋助教
前	15	6月03日(火)	1	講義	硬膜外麻酔分娩時における助産師のケア		母性看護学・助産学	山崎准教授